

桃太郎
のまち岡山

平成27年度当初予算(案)の概要

平成27年2月

伝説の
岡山市

目 次

平成27年度当初予算(案)の概要

当初予算(案)の特徴	1
当初予算(案)の規模	2

歳入・歳出の内訳(一般会計)

歳入予算(案)の内訳	3
歳出予算(案)[性質別]の内訳	4
歳出予算(案)[目的別]の内訳	5

行財政改革の推進

事務事業チェック	6
市債残高の推移	7

平成27年度当初予算(案)における主要施策・事業

「住みやすさ」

① 魅力ある中心市街地の創出と人にやさしい都市交通網の構築	8
② 人と自然が共生する持続可能な地域づくり	11
③ 知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成	14
④ 女性が輝き、安心して子育てできるまちづくり	16
⑤ 医療の強みをいかしたまちづくり	18
⑥ ともに支え合う健康・福祉のまちづくり	19
⑦ 歴史と文化が薫る誇りと一体感の持てるまちづくり	22

「力強さ」

⑧ 活力とにぎわいのある国内外に開かれたまちづくり	24
---------------------------	----

「安全・安心」

⑨ 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	26
⑩ パートナーシップによる持続可能な都市づくり	30

「社会保障と税の一体改革」の影響	33
------------------	----

平成27年度当初予算編成過程の見える化	34
---------------------	----

国の経済対策による前倒し事業一覧	36
------------------	----

参考

一般会計歳入・歳出	37
特別会計・事業会計	38
予算性質別経費	39
基金及び地方債現在高の状況	40

※数値については、四捨五入を原則とし、端数調整を行っています。

平成27年度当初予算(案)の概要

当初予算(案)の特徴

平成27年度当初予算(案)は、

昨年の「ESDに関するユネスコ世界会議」の開催や岡山駅前への大型商業施設の開業といった大きなインパクトに、ハード・ソフト両面から様々な政策を実施したことにより、賑わいの創出やまちづくりへの期待の高まりなど、前向きな変化とそれに伴う新たな動きが生まれています。

この動きを、より確かなものとするため、平成27年度当初予算(案)では、「住みやすさ」「力強さ」「安全・安心」の3つの視点を大切に、市民と協働しながら、市民生活の充実と岡山市の発展に資する政策を一つひとつ着実に進めてまいります。

また、岡山市は今後、市政運営の羅針盤となる総合計画や、将来的な人口減少に歯止めをかけるための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、活力ある持続可能なまちづくりを進めるとともに、広域連携の拠点都市として圏域全体を牽引し、住民の暮らしを支える役割を果たす必要があります。

こうしたことから、平成27年度当初予算(案)では、魅力ある中心市街地を創出し、合わせて周辺地域の振興や活力とにぎわいのある国内外に開かれたまちづくりに取り組むとともに、女性が輝き、安心して子育てできる、そして知・徳・体の調和のとれた自立した子どもを育てられるまちづくり、医療の強みをいかしながら、ともに支え合う健康・福祉のまちづくり、歴史と文化が薫る誇りと一体感が持てるまちづくり、災害に強い安全・安心なまちづくりなど、いま行うべき取組を着実に前進させることに重点を置いて編成しております。

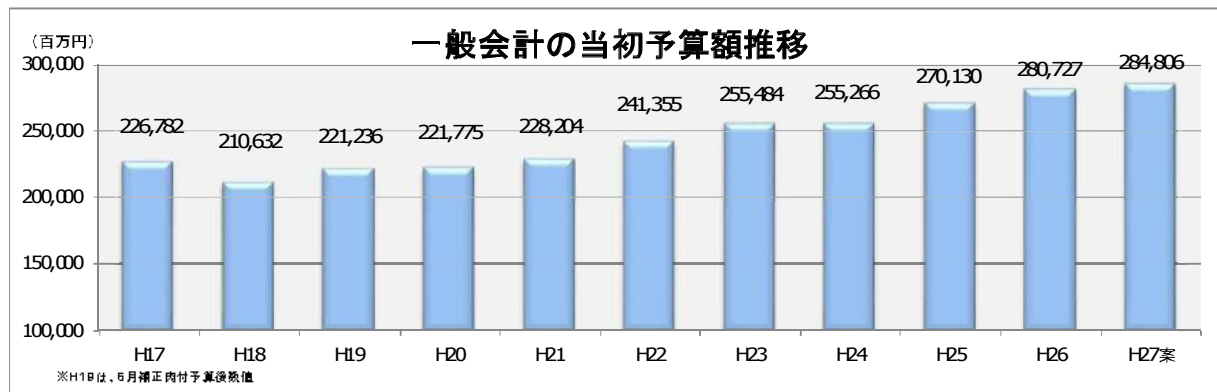
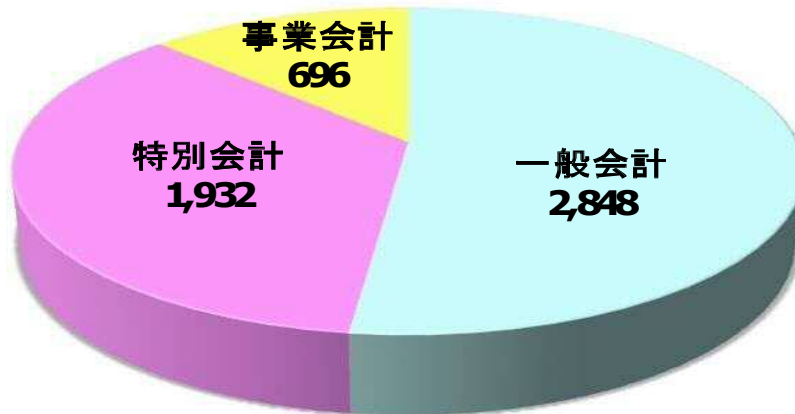
当初予算(案)の規模

- 一般会計、特別会計、事業会計を合わせた総額は5,476億円
(対前年度比69億円、1.3%の増)
- 一般会計は、昨年度を41億円上回る過去最高額、3年連続の増加
(対前年度比1.5%の増)

(単位:百万円)

区分	平成27年度 当初予算(案)	平成26年度 当初予算	増減額	対前年度比
一般会計	284,806	280,727	4,079	1.5%
特別会計	193,165	188,880	4,285	2.3%
事業会計	69,653	71,121	△1,468	△2.1%
合計	547,624	540,728	6,896	1.3%

平成27年度当初予算(案) 全会計総額
5,476億円



歳入・歳出予算の内訳(一般会計)

歳入予算(案)の内訳

- 市税は、景気の持ち直しによる給与・その他個人所得の増加などにより
対前年度比で11億円の増(+1.0%)
- 地方譲与税・交付金は、地方消費税率の引上げ後の地方消費税交付金の増加
などにより同49億円の増(+27.5%)
- 臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は地方消費税交付金の増加などにより
同29億円の減(△6.3%)
- 国・県支出金は、子ども・子育て支援新制度移行に伴う県支出金の増加などにより
同15億円の増(+2.4%)
- 市債は、地方消費税交付金の増加などによる臨時財政対策債の減少により
同20億円の減(△4.5%)
(臨時財政対策債を除いた市債は同程度の231億円)

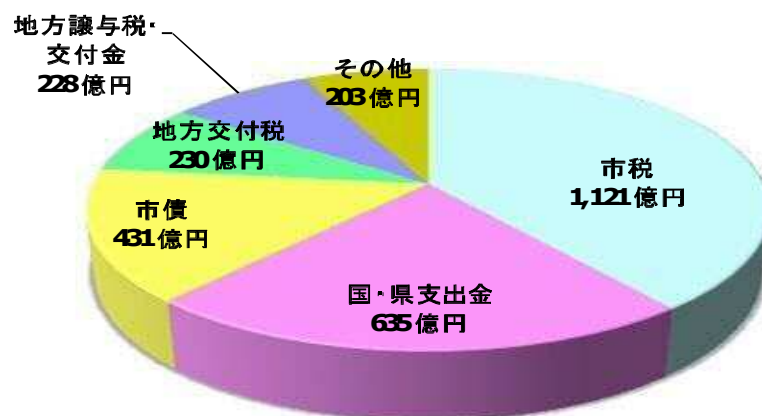
【その他の項目】

- 財政調整基金繰入金は、前年度比で2億円の増(+6.3%)
<H27 39億円 H26 37億円>
- 公共施設等整備基金繰入金は、前年と同額 <H27 20億円 H26 20億円>

(単位:百万円)

区分	平成27年度	構成比	平成26年度	構成比	増減額	対前年度比
市税	112,141	39.4%	111,034	39.6%	1,107	1.0%
地方譲与税・交付金	22,793	8.0%	17,870	6.3%	4,923	27.5%
地方交付税	23,000	8.1%	23,900	8.5%	△900	△3.8%
国・県支出金	63,493	22.3%	62,004	22.1%	1,489	2.4%
市債	43,083	15.1%	45,108	16.1%	△2,025	△4.5%
うち臨時財政対策債	20,000	7.0%	22,000	7.8%	△2,000	△9.1%
うち上記以外	23,083	8.1%	23,108	8.3%	△25	△0.1%
小計	264,510	92.9%	259,916	92.6%	4,594	1.8%
その他	20,296	7.1%	20,811	7.4%	△515	△2.5%
合計	284,806	100.0%	280,727	100.0%	4,079	1.5%

平成27年度当初予算(案) 歳入総額 2,848億円



歳出予算(案)[性質別]の内訳

【増要因】

- 物件費は、社会保障・税番号制度への対応や基幹業務システムの最適化等に伴う情報システムの改修の増加などにより対前年度比で22億円の増(+7.1%)
- 普通建設事業費は、市有施設の耐震化の推進や、岡山操車場跡地の整備の推進などにより同13億円の増(+2.7%)
- 人件費は、退職見込者数の増加や昨年の給与改定などにより
同13億円の増(+3.0%)
- 繰出金は、高齢化等に伴う保険医療特別会計への繰出金の増加により
同12億円の増(+5.1%)

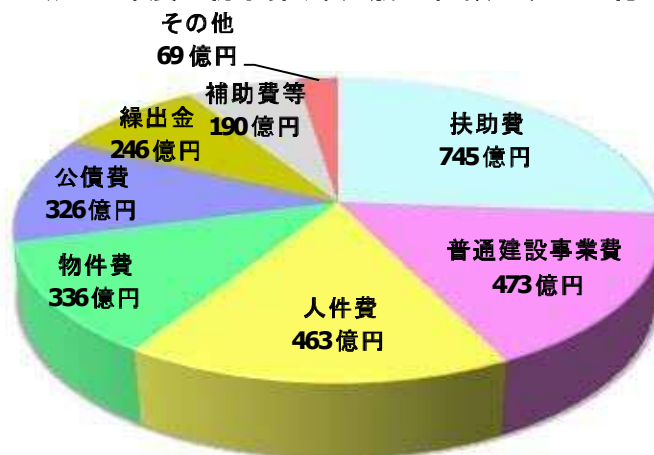
【減要因】

- 公債費は、市債の借入れ抑制などにより同20億円の減(△5.7%)
- 扶助費は、臨時福祉給付金等の減少により同4億円の減(△0.5%)
(臨時福祉給付金等の影響を除くと、子ども・子育て支援新制度移行に伴う給付費等の増加などにより同10億円の増(+1.4%))

(単位:百万円)

区分		平成27年度	構成比	平成26年度	構成比	増減額	対前年度比
義務的経費	人件費	46,252	16.2%	44,923	16.0%	1,329	3.0%
	扶助費	74,533	26.2%	74,932	26.7%	△399	△0.5%
	公債費	32,581	11.4%	34,543	12.3%	△1,962	△5.7%
	小計	153,366	53.8%	154,398	55.0%	△1,032	△0.7%
投資的経費	普通建設事業費	47,315	16.6%	46,059	16.4%	1,256	2.7%
	災害復旧事業費	—	0.0%	—	0.0%	0	—
	小計	47,315	16.6%	46,059	16.4%	1,256	2.7%
その他の経費	物件費	33,635	11.8%	31,399	11.2%	2,236	7.1%
	補助費等	18,957	6.7%	18,747	6.7%	210	1.1%
	繰出金	24,635	8.6%	23,445	8.3%	1,190	5.1%
	その他	6,898	2.5%	6,679	2.4%	219	3.3%
	小計	84,125	29.6%	80,270	28.6%	3,855	4.8%
合計		284,806	100.0%	280,727	100.0%	4,079	1.5%

平成27年度当初予算(案) 歳出総額 2,848億円

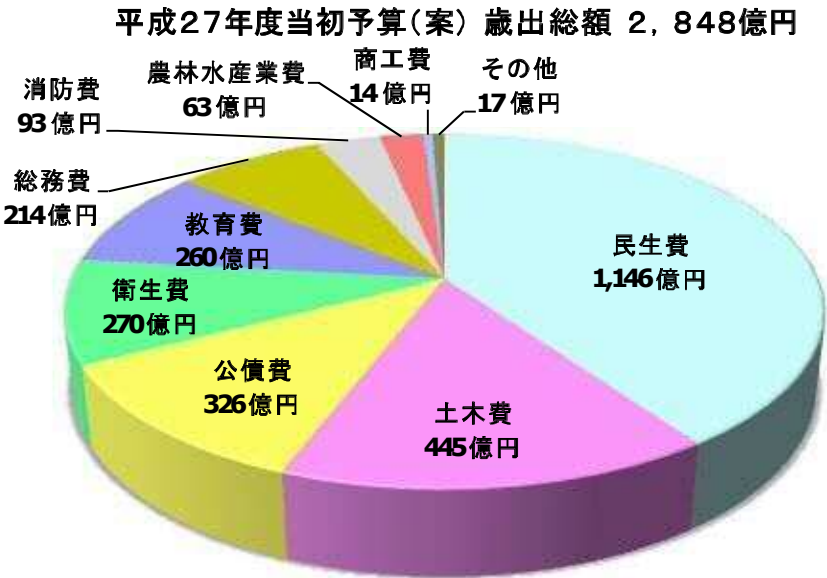


歳出予算(案)[目的別]の内訳

- 民生費は、
 - ・高齢化等に伴う保険医療特別会計への繰出金の増加
などにより同14億円の増(+1.2%)
- 土木費は、
 - ・岡山操車場跡地整備推進事業(市営住宅・社会福祉施設導入区域)の増加
などにより同12億円の増(+2.8%)
- 公債費は、
 - ・市債の借入れ抑制などにより同20億円の減(△5.7%)
- 衛生費は、
 - ・岡山操車場跡地整備推進事業(健康・医療・福祉系施設導入区域)の皆増
などにより同9億円の増(+3.5%)
- 教育費は、
 - ・学校園の耐震化の推進などにより前年度比で16億円の増(+6.5%)
- 商工費は、
 - ・たけべ八幡温泉郷再整備事業の皆減などにより同6億円の減(△29.1%)

(単位:百万円)

款 別	平成27年度	構成比	平成26年度	構成比	増 減 額	対前年度比
民生費	114,609	40.2%	113,250	40.3%	1,359	1.2%
土木費	44,507	15.6%	43,306	15.4%	1,201	2.8%
公債費	32,619	11.4%	34,580	12.3%	△1,961	△5.7%
衛生費	26,943	9.5%	26,026	9.3%	917	3.5%
教育費	25,967	9.1%	24,381	8.7%	1,586	6.5%
総務費	21,417	7.5%	20,735	7.4%	682	3.3%
消防費	9,316	3.3%	8,715	3.1%	601	6.9%
農林水産業費	6,338	2.2%	6,091	2.2%	247	4.1%
商工費	1,394	0.5%	1,965	0.7%	△571	△29.1%
その他	1,696	0.7%	1,678	0.6%	18	1.1%
合 計	284,806	100.0%	280,727	100.0%	4,079	1.5%



行財政改革の推進

事務事業チェック

- 平成27年度当初予算(案)では、約29億円の財政効果を反映
(事業費ベース)

「新岡山市行財政改革大綱(新・短期計画編)」に基づき、事務事業の見直し、民間活力の積極的活用、人件費の見直し、経費の節減等の取組も行い、平成27年度当初予算(案)では、約29億円(事業費ベース)の財政効果を反映。

見直した主な事業

●事務事業の見直し(207百万円)

- ・土地改良事業交付金の縮減(155)
- ・焼却施設の維持管理方法の見直し(34)など

●民間活力の積極的活用(61百万円)

- ・指定管理者制度の活用(40)
- ・学校給食の民間委託の推進(20)など

●経費節減等の財政効果(2,159百万円)

- ・公債費の縮減(1,961)
- ・不用額の見直し(198)
(決算不用額や実績を勘案して見直し)

●増収施策の取組(61百万円)

- ・未利用地の売却(35)
- ・広報媒体の有効活用(20)など

●定員及び人事管理の適正化等(418百万円)

- ・職員数の削減(285)
(平成27年度4月1日で37人削減予定)
- ・退職手当の見直し(133)

財政効果額
約29億円
(事業費ベース)

市債残高の推移

■ 一般会計の市債残高は、臨時財政対策債などにより増加傾向

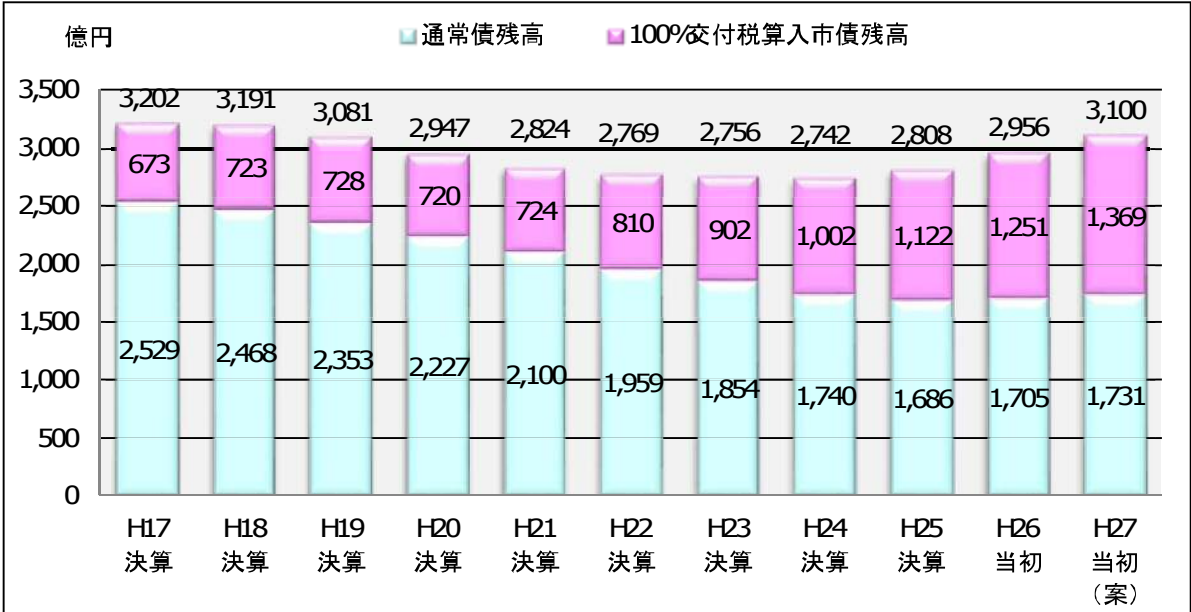
元金償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた通常債は、政令市移行後200億円を目安に借入れを抑制。

時限的に有利な起債(合併特例・推進債)を活用し、市民の安全・安心な暮らしを守るため平成27年度当初予算の通常債の借入額は200億円を超過。

(単位:百万円)

区分	H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 当初	H27 当初	増減額 H27-H26
元金償還金	(23,621)	(23,027)	(21,904)	(21,204)	(20,406)	(△798)
	32,331	32,461	31,355	30,316	28,721	△1,595
借入額	(13,128)	(11,625)	(16,496)	(23,108)	(23,083)	(△25)
	30,937	31,062	38,023	45,108	43,083	△2,025
年度末残高	(185,378)	(173,976)	(168,568)	(170,472)	(173,149)	(2,677)
	275,551	274,152	280,820	295,612	309,974	14,362

(注1) ()内は、減税補てん債、臨時財政対策債等100%交付税算入される起債を除いたもの。
 (注2) 元金償還金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く



平成27年度当初予算(案)における主要施策・事業 ～岡山市都市ビジョン 平成27年度実施計画(案)～

住みやすさ

① 魅力ある中心市街地の創出と人にやさしい都市交通網の構築

○豊かな歴史や文化が蓄積した岡山の顔である中心市街地において、岡山駅前における新たな人の流れをまちのにぎわいと活力に結び付けるため、「回遊性の向上」と「魅力づくり」をキーワードにした政策パッケージを、民間事業者等と連携し、役割分担しながら進めます。

○都市の活力を高め、超高齢社会に対応するため、公共交通を中心とした人にやさしい都市交通網を構築し、自動車優先から人優先のまちに変えていきます。

H27予算額()書きは一般財源

● 魅力ある中心市街地の創出

12億95百万円(6億70百万円)

■ まちなかをめぐろう

1億44百万円(1億39百万円)

- ・回遊性向上社会実験(県庁通り・西川緑道公園筋)

81百万円(81百万円)

県庁通りでは、交通規制により生じた空間を歩行空間とするとともに、オープンカフェなどの賑わい演出をあわせて行い、歩いて楽しい道路空間の検証を関係機関と協議しながら進めます。また、西川緑道公園筋では、西川パフォーマー事業に合わせ、沿道も含めた賑わいづくりを進めます。

- ・西川魅力にぎわいづくり 35百万円(35百万円)

西川緑道公園界隈の魅力を高め、中心市街地の賑わいづくりと回遊性の向上を図ります。

- ・まちなか公園マネジメント(パークマネジメントによる主要公園の運営プラン策定事業) **新規**

16百万円(16百万円)

公園の特性を活かした利活用を進めるため、パークマネジメントの手法を取り入れ、オープンカフェの常設化の検討など石山公園、西川緑道公園の運営プランの策定を行います。

- ・まちなか回遊アプリ 7百万円(7百万円)

中心市街地で岡山市の歴史文化の由来を知ることのできるスポットなど、まち歩きの魅力を高める情報を提供するスマートフォン用のアプリケーションを運営します。

- ・まちなか健康スタンプラリー **新規** 5百万円(一)

まちなかの複数の場所で開催されるイベントを歩いて回ってもらうために、スタンプラリーを実施します。

<先進例>

高岡市御旅屋(おたや)通り
※HP「高岡市観光ポータルサイト
たかおか道しるべ」から引用



■ **自転車・公共交通に乗ろう** **7億13百万円(2億95百万円)**

- ・「ももちゃり」の拡充(自転車先進都市おかやま事業) **拡充**
1億17百万円(75百万円)(10ページ参照)

岡山駅西口駅前、県総合グラウンド及び岡山大学などの駅西口エリアにポートを設置します。

- ・駅前広場への路面電車乗り入れ検討(都市交通戦略推進事業)
18百万円(8百万円)

路面電車の駅前広場への乗り入れについて、実現性の調査・検討を行います。

- ・自転車利用環境の向上(自転車先進都市おかやま事業)
5億52百万円(1億89百万円)(10ページ参照)

安全で快適な走行空間ネットワークの形成を目指し、路線の状況に応じた整備を行います。また、放置自転車の解消に向けた啓発活動とともに岡山駅西口エリアに新たな駐輪場整備を行います。

- ・駐車場の活用検討 **新規** 20百万円(20百万円)

市街地中心部における車両の流入抑制と他交通手段への転換及び土地の高度利用を促進するため、駐車場に係る実態調査及び附置義務条例改正の検討を行います。

- ・超小型モビリティの導入検討 **新規** 6百万円(3百万円)

「次世代の乗り物」である超小型モビリティの導入の可能性を検討します。



■ **魅力あふれる商店街** **27百万円(27百万円)**

- ・商店街のやる気のあと押し(商店街活性化支援事業)(24ページ参照)
商店街が主体的に行う活性化計画の作成を支援するとともに、計画に沿った出店等に対して助成し商店街の活性化を図ります。

■ **岡山の歴史や文化に触れる** **1億48百万円(1億48百万円)**

- ・(仮称)岡山国際現代芸術祭の推進 **新規** 25百万円(25百万円)(22ページ参照)
- ・お城とお庭のタイアップ(岡山城・岡山後楽園・出石周辺の魅力アップ事業)(23ページ参照)
44百万円(44百万円)

- ・岡山の歴史・文化に親しむ(岡山の歴史・文化に親しむ事業)
35百万円(35百万円)(22ページ参照)

- ・市民会館のあり方検討(新岡山市市民会館等整備事業)
20百万円(20百万円)(23ページ参照)

- ・城下町魅力まちづくり(都心創生まちづくり構想推進事業)
2百万円(2百万円)(23ページ参照)

—集う・憩う・楽しむ水辺—「旭川再生！」

(旭川かわまちづくり事業)

22百万円(22百万円)

旭川を中心とした賑わいの拠点づくりとして、さくらみちの歩行空間整備、案内看板の設置、旭川界隈お散歩マップ(仮称)の作成、石山公園再整備の基本設計などを行います。



■ まちなかに住む

2億63百万円(62百万円)

- ・快適な居住等の支援(市街地再開発事業) 1億82百万円(21百万円)
 - ・市街地再開発事業への支援(中山下一丁目1番地区) 1億69百万円(8百万円)
 - ・まちづくり研究会等への支援 13百万円(13百万円)
- ・高齢者も安心な居住への支援(高齢者向け地域優良賃貸住宅(サービス付き))

81百万円(40百万円)



● 吉備線LRT化基本計画案の策定

20百万円(9百万円)

平成26年度設置の岡山市、総社市及び西日本旅客鉄道株式会社の3者による吉備線LRT化に関する基本計画の策定に向けて検討を行います。

● 自転車先進都市おかやま事業(一部再掲)

6億70百万円(2億65百万円)

温暖で雨が少なく、広大な平坦地を有する岡山の特性を活かし、自転車先進都市を目指す取組を推進します。

- ・自転車の走りやすい空間づくり(桃太郎大通り、岡山駅西口周辺)

1億65百万円(57百万円)

- ・駐輪場の整備 3億11百万円(56百万円)

駅元町自転車駐車場の新設等

- ・「ももちゃり」の拡充 **拡充** 1億17百万円(75百万円)

岡山駅西口駅前、県総合グラウンド及び岡山大学などの駅西口エリア等にポートを拡充設置します。

- ・自転車利用のルール遵守やマナー向上のための取組強化など

77百万円(77百万円) など



② 人と自然が共生する持続可能な地域づくり

- 多様で豊かな自然環境に恵まれた周辺地域において、生活交通の確保や地域の実態調査等に取り組み、地域の特性や実情を踏まえた持続可能で住みやすい地域づくりを地域住民の皆さんとともに進めます。
- コンパクトシティを目指す中で、居住機能や医療・福祉・教育・商業等の都市機能の立地を誘導する計画づくりを進めるとともに、地域拠点である岡山操車場跡地の整備を進めます。
- 地球温暖化対策や資源循環型社会を目指した取組を市民、民間事業者との協働により推進し、持続可能な社会の実現に貢献する環境先進都市の構築を目指します。

H27予算額()書きは一般財源

● 周辺地域の振興 2億64百万円(1億7百万円)

多様で豊かな自然環境に恵まれた周辺地域では自然との共生を基調にしながら、地域の特性や実情を踏まえた持続可能で住みやすい地域づくりを進めていきます。

- ・中山間地域の実態把握調査等事業及び離島における活性化支援事業 拡充
4百万円(4百万円)
中山間地域については、総合計画策定に向けて実態調査を行い、犬島については、資源を活かす活性化策の検討を行います。
- ・生活交通確保事業 拡充 63百万円(44百万円)
公共交通不便地域において既運行地域への助成に加え、新たに試験運行を行います。
- ・歴史案内看板の整備計画の策定 新規 10百万円(10百万円)(22ページ参照)
- ・地域おこし協力隊によるまちづくり 新規 11.4百万円(11.4百万円)
御津地域及び建部地域において地域おこし協力隊による活性化の支援をします。
- ・農地・農業用水等の保安全管理の支援(多面的機能支払交付金) 拡充
1億61百万円(37.8百万円)(25ページ参照)
- ・農地利用の効率化・高度化の促進(機構集積協力金) 14.3百万円(—)

● 立地適正化計画の策定 新規 15百万円(8百万円)

公共交通によりネットワーク化されたコンパクトシティの実現を図るため、都市再生特別措置法の改正により創設された立地適正化計画の策定に向けて取り組みます。

● 岡山操車場跡地整備推進事業 拡充 82億85百万円

(45億89百万円)



岡山操車場跡地整備基本計画に沿って、岡山西部総合公園(仮称)、市営住宅・社会福祉施設導入区域、健康・医療・福祉系施設導入区域を整備します。

● 地球温暖化対策推進事業 7億72百万円(6億35百万円)

「地球温暖化対策実行計画」に基づき、市民生活や都市活動における環境負荷の低減を積極的に実践するため、市民・事業者・行政が目標を共有・協働して各種事業を推進します。

■ 再生可能エネルギー・省エネルギー導入促進 3億54百万円(3億54百万円)

- ・住宅用太陽光発電システム導入 1億70百万円(1億70百万円)
助成件数1,700件、助成対象10kW未満、助成額1kW当たり2万円(上限10万円)
- ・住宅用省エネ設備導入 **拡充** 1億3百万円(1億3百万円)
 - ・燃料電池、家庭用蓄電池、HEMSなど省エネ機器設置の助成単価を増額します。
 - ・既存住宅の高性能建材利用による改築を新たに助成対象とします。
- ・事業所用省エネ設備導入 **拡充** 79百万円(79百万円)
 - ・デマンド管理装置を新たに助成対象とします。
 - ・LED照明機器、高効率空調機などの省エネ機器設置の助成単価を増額します。
- ・市民共同発電事業 2百万円(2百万円)

■ 省エネルギーの促進 2億17百万円(2億17百万円)

- ・LED防犯灯の設置普及 1億98百万円(1億98百万円)
町内会の取替・新設8,040灯への助成、市の取替・新設200灯
- ・エコ通り推進事業 18百万円(18百万円)
市役所筋の照明をLED化(40基)し、省エネルギー化を図るとともに経費を節減します。
- ・ライトダウンキャンペーンの実施 1百万円(1百万円)
各家庭や事業所で夏至(6/21)から七夕(7/7)にかけて、消灯という身近な取組ひとつで地球温暖化防止につながることを実感し、実践するキャンペーンを行います。

■ 電気自動車等の普及促進 25百万円(25百万円)

- ・電気自動車及び充電設備の導入助成 14百万円(14百万円)
電気自動車130台(助成額10万円/台)、充電設備10台
- ・公用電気自動車の導入及び充電設備設置 11百万円(11百万円)

■ 市有施設への太陽光発電設備の設置 1億70百万円(33百万円)

既存の南ふれあいセンターへの設置や学校耐震化、北消防署整備、吉備公民館・吉備地域センター整備工事にあわせて、太陽光発電設備を設置します。

■ 環境保全の推進 6百万円(6百万円)

- ・環境パートナーシップ事業 2百万円(2百万円)
清掃、緑化、落書き消去、自然保護を自主的に行う活動などを支援します。
- ・環境づくり支援事業 1百万円(1百万円)
水辺教室、自然環境教室などを行います。
- ・環境保全行動推進事業 3百万円(3百万円)



● **ごみ処理広域化対策事業** **1百万円(1百万円)**

平成26年度に策定するごみ処理広域化基本計画を踏まえ、施設整備体制の検討を行い、一部事務組合または地方自治法上の協議会への移行等に向けて準備を行います。

● **一宮浄化センター施設整備事業** **4億84百万円(18百万円)**

老朽化した基幹的設備及び建物について、現有施設を利用した改修工事を行います。

● **汚水処理施設整備事業** **58億円(1億13百万円)**

下水道未普及地区の早期解消に努め、良好な水環境の保全を図ります。

● **健康みつ21公園(仮称)整備事業**

1億81百万円(52百万円)

豊かな自然を活かした健康づくりのための公園として多目的広場や、墓地の整備工事を行います。

● **福田緑道公園整備事業** **新規** **62百万円(10百万円)**

南ふれあいセンター周辺部分の旧岡山臨港鉄道跡地について、公園整備に向けて用地取得と設計等を行います。 面積 1,200㎡

● **木質資源供給奨励事業** **新規** **2百万円(2百万円)**

間伐材の森林内留置による病虫害の発生や土砂災害発生の誘発を防止し、森の健全化を図るため、バイオマス発電所(真庭市)までの移送経費の一部を助成します。

③ 知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成

- 新たに設置する総合教育会議において、岡山市の教育の現状と課題を踏まえた教育のあるべき方向性を示す大綱の策定に向けた取組等を進めます。
- 確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体」の調和がとれ、社会の中で自己実現できる「自立する子ども」を育むため、中学校区単位での一貫した学びによる学力の向上、規範意識や自らを高めようとする心を備えた豊かな心の醸成等を進めます。
- 学校が抱えている様々な課題の未然防止や早期解決を図るとともに、落ち着いた授業を受けられる環境づくりを進め、子どもの学ぶ意欲の向上と問題行動等の減少を図ります。また、様々な学習機会の提供や安全・安心の教育環境づくり等を進め、市民の主体的に学び続ける意欲を高めます。

H27予算額()書きは一般財源

● 総合教育会議の設置 **新規** 6百万円(6百万円)

市長と教育委員会が公開の場における議論を通じて、教育政策の方向性を共有しながら、一致して執行に当たるため、総合教育会議を設置します。

- ・総合教育会議開催経費 0.6百万円(0.6百万円)
- ・岡山っ子・人づくりのための民間活用調査研究事業 5百万円(5百万円)
総合教育会議の運営に当たり、国内外の各種調査結果や先進事例等に関する民間の豊富なデータと優れた知見を活用するための調査研究事業を行います。

● 『岡山っ子』学力向上推進事業 **拡充** 6百万円(6百万円)

全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学力に関する課題の解決に取り組みます。

- ・いきいき学校園づくり **拡充** 2百万円(2百万円)
中学校区での学力向上と学校評価を組み合わせ、大学教授立会の公開授業などを行い、4年周期で一貫教育を推進します。
- ・ますかつとプリント(学力向上対策プリント) **拡充** 2百万円(2百万円)
学力・学習状況調査で課題があった「算数」の学習プリントを小学5、6年生の全児童で実施し、状況を把握したうえで指導に生かします。
- ・好事例に学ぶ(先進地視察) **新規** 0.5百万円(0.5百万円)
- ・岡山っ子学力向上推進チーム **新規** 1.5百万円(1.5百万円)
大学や学校と連携して学力・学習状況調査の分析を基に授業改善を全校の取組として推進します。
など

● 学校業務アシスト事業 **新規** 65百万円(44百万円)

小・中学校に教職員を補助する事務処理員を配置し、教職員の事務負担を軽減させ、児童生徒と向き合える時間を捻出することで、教育環境の向上を図ります。

● 部活動サポート事業 **新規** 17百万円(17百万円)

市立中学校及び高等学校に、外部指導者を派遣することで、部活動において顧問教員の負担を軽減するとともに、開かれた学校づくりを推進します。

● **操山地区公民館整備事業** **35百万円(3百万円)**

新たに操山地区に地区公民館を整備するための設計等を行います。

● **ユネスコスクール推進事業** **拡充** **16百万円(7百万円)**

新たにESDコーディネーターを配置し、ユネスコスクールコンソーシアム(連合体)形成による連携と、国内外のユネスコスクールとの交流を促進していきます。

● **公民館ESD活動推進事業** **5百万円(5百万円)**

各公民館での草の根ESD活動を推進し、ESDをまだ知らない人への情報発信や、さらなるESD活動拡充のために全国の公民館職員を招いた会議を行います。

また、ESD世界会議で生まれた海外のコミュニティーラーニングセンター(CLC)とのつながりをさらに深めるため、インドネシアで予定されているCLCネットワーク会議に参加し、海外のCLCとの相互交流を促進します。

● **ストップ・ザ学校問題—学びの場充実事業—**

1億46百万円(1億17百万円)

問題行動等の早期発見・早期対応の充実を図り、落ち着いた学校環境づくりを強化します。

・共に成長し合う学級集団づくり推進事業 46百万円(46百万円)

児童生徒一人ひとりの学校への適応度の分析を行い、課題解決のための「学級づくり」に全校で取り組みます。

・学校問題解決サポート事業 11百万円(11百万円)

学校だけでは解決困難な問題に対して、警察OBや弁護士等の専門家によるサポートチームを設置し、早期解決をサポートします。

・問題行動等対策事業 0.8百万円(0.5百万円)

学校におけるいじめ等による重大事態への対処と発生の防止のため、問題行動等対策委員会を設置し、重大事態に係る事実関係の調査といじめ等の防止対策について審議します。

・いじめ専門相談員派遣事業 3百万円(3百万円)

臨床心理士を「いじめ専門相談員」として派遣し、支援が必要なケースについて、当該児童生徒や保護者への支援や相談を行い問題の解決を図ります。

・不登校児童生徒支援員配置事業 41百万円(27百万円)

不登校の未然防止やその解決を図るため、不登校児童生徒支援員を小中学校に配置します。

・スクールカウンセラー配置事業 **拡充** 44百万円(29百万円)

小・中・高等学校に「心の専門家」であるスクールカウンセラーを配置し、いじめ、暴力行為、不登校などに関する児童生徒とその保護者からの相談や教職員への助言及びカウンセリングの技法の研修を行い、各学校の総合的な相談体制の充実と指導力の向上を図ります。



④ 女性が輝き、安心して子育てできるまちづくり

○女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別にかかわらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。

○認定こども園や放課後児童クラブの充実をはじめとする子ども・子育て支援新制度の着実な推進や平成28年度からの子ども医療費助成制度の拡充に向けた取組等により、安心して子育てができるまちづくりを進めます。

H27予算額()書きは一般財源

● 女性が輝くまちづくり推進事業 15百万円(15百万円)

■ 市内企業で働く女性の活躍応援 10.5百万円(10.5百万円)

- ・企業紹介事業 **新規** 0.5百万円(0.5百万円)
女性の活躍に取り組んでいる企業の取組を広く紹介します。
- ・市内企業で働く女性活躍プログラム **新規** 1百万円(1百万円)
市内企業に勤める女性の活躍をすすめる講座を実施します。
- ・女性の活躍を進める情報発信事業 **新規** 9百万円(9百万円)
著名なパネラーを招いてのシンポジウム開催と、座談会を開くなど情報発信を行います。

■ 安心して子育てできるための両立支援 1百万円(1百万円)

- ・男性管理職向けセミナー **新規** 1百万円(1百万円)
企業における女性活躍の意義や効果についての啓発・講座等を実施し、男性に対する家事・子育てなどの参加への理解を促進します。

■ さまざまな働き方への応援 2.5百万円(2.5百万円)

- ・女性の再就職支援事業 **新規** 1.5百万円(1.5百万円)
希望する生き方を大切にしたい再就職支援を行います。
- ・マザーズ出張相談開催事業 **新規** 0.4百万円(0.4百万円)
おかやまマザーズハローワーク等と共同で市内ふれあいセンターにて就職相談を行います。
- ・女性創業セミナー開催事業 0.2百万円(0.2百万円)
女性の創業希望者に対して、創業支援となるセミナーを開催します。
- ・岡山市女性農業士制度 0.4百万円(0.4百万円)
地域で活躍する女性農業者を女性農業士に認定し、資質の向上及び活動を支援します。



■ 隼より始めよ 1百万円(1百万円)

- ・女性職員の活躍推進研修 1百万円(1百万円)
本市の女性職員が活躍できるよう、女性職員を対象とした研修を企画・実施します。

● 安心して子育てできるまちづくり事業

26億26百万円(12億10百万円)

■ 子育てをしながら安心して働ける環境整備 18億71百万円(9億30百万円)

- ・最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進 5億93百万円(2億53百万円)
幼保一体化を進め、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。
- ・地域型保育を含む就学前教育・保育体制の確保 **拡充** 52百万円(36百万円)
- ・認定こども園の整備及び運営 **拡充** 3億16百万円(1億27百万円)
- ・子どものための教育・保育給付 **新規** 2億25百万円(90百万円)
- ・放課後児童クラブの充実 8億10百万円(4億50百万円)
対象児童の拡大に対応するため、児童クラブの指導員の確保と資質向上策を講じます。
- ・アドバイザー派遣事業 **新規** 11百万円(11百万円)
- ・児童クラブ補助金 **拡充** 5億75百万円(3億83百万円)
- ・児童クラブ施設整備 **拡充** 2億1百万円(34百万円) など
- ・看護師等加配助成事業 **新規** 18百万円(18百万円)
乳児保育のために看護師等を配置する私立保育園を助成します。
- ・障害児保育の充実 **拡充** 1億32百万円(1億32百万円)
私立保育園の障害児を受け入れ助成を拡充します。
- ・保育園、幼稚園、児童館、児童クラブ耐震改修事業 3億19百万円(77百万円)



■ 子どもと子育て家庭のサポート 7億27百万円(2億58百万円)

- ・私立幼稚園就園奨励費補助事業 **拡充** 2億49百万円(1億66百万円)
低所得世帯等の就園児の入園・授業料を減免した私立幼稚園に対する支援を拡充します。
- ・地域子育て支援拠点事業 **拡充** 1億31百万円(44百万円)
地域子育て支援拠点への支援を拡充します。
- ・子ども医療費助成制度拡充事業 **拡充** 40百万円(40百万円)
平成28年度からの子ども医療費助成制度の拡充に向けて必要な準備を行います。
- ・発達障害者支援事業 **拡充** 0.3百万円(0.1百万円)
社会参加支援活動プログラムを、地域活動支援センターへ展開します。
- ・ファミリーサポート事業 11百万円(4百万円)
- ・シルバー世代産前産後応援事業 4百万円(4百万円)
- ・子育て世帯臨時特例給付金 2億91百万円(一)



■ 子どもが安全で健やかに育つ地域環境づくり 28百万円(22百万円)

- ・市立保育園等へのAED設置 **新規** 7百万円(7百万円)
市立の幼稚園・保育園・認定こども園へAEDを設置します。
- ・入所施設児童等学習支援事業 **新規** 11百万円(5百万円)
児童養護施設入所児への学習支援により貧困の連鎖を防止します。
- ・こそだてぼけっと(情報たから箱事業) 10百万円(10百万円)

⑤ 医療の強みをいかしたまちづくり

○平成27年5月に開院する新市民病院に「岡山市地域ケア総合推進センター」を常設し、市民が予防、診療から介護まで切れ目のないサービスを受けることができる仕組みづくりを進め、最適な地域医療システムの構築を目指します。

○岡山市の豊富な医療・福祉資源の集積をいかし、在宅に特化した総合特区を戦略的に推進するなど、岡山ならではの医療の強みをいかしたまちづくりを進めます。

H27予算額()書きは一般財源

在宅医療・介護の推進

60百万円(31百万円)

超高齢社会を迎えるにあたり、市民が住みなれた地域で最期まで安心して暮らすことができるように、医療・介護分野の連携機能を強化するとともに、安心を支える最適な地域医療システムを構築し、予防、診療から介護まで切れ目ないサービス提供体制を構築します。

- ・「岡山市地域ケア総合推進センター」開設 **新規**
39百万円(19百万円)
- ・施設看取り・急変時対応推進事業 **新規**
0.2百万円(0百万円)
- ・在宅療養支援強化事業 **新規**
0.6百万円(0百万円)
- ・病院看護部長在宅医療研修 **新規**
1百万円(0百万円)
- ・身体・精神合併症救急連携事業
12百万円(12百万円) など



在宅介護総合特区～AAAおかやま～の推進

1億10百万円(22百万円)

在宅に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。

- ・介護機器貸与モデル事業
在宅の方に最先端の介護機器を貸与します。
クラブ等を利用した場合に換価可能なポイントを付与します。
- ・介護予防ポイント事業
過去に介護認定を受けていた人で、現在認定を受けていない人がフィットネス
・デイサービス改善インセンティブ事業
デイサービスの質を評価し、利用者の状態の維持改善を図る事業所にインセンティブを与えることで介護サービスの質の向上を図ります。

現市民病院跡地の有効利用の検討

1億76百万円(1億62百万円)

新市民病院の開院に伴い、現市民病院は病院機能としての役割を終えることから、既に休日夜間急患診療所及び休日急患歯科診療所等への活用が決まっている別館については、老朽化した設備等の更新工事等を行い、跡地活用について検討中の本館等については、保安対策として仮囲い工事や解体設計を行います。